

令和7年度下期募集分「芸術活動振興事業助成金」応募団体の審査結果について

令和7年8月14日にアーツカウンシル部会において厳正な審査を行った結果、下記のとおり決定しました。

<応募総数>

110件（一般助成A 51件 一般助成B 59件）

<助成予定件数>

50件（一般助成A 25件 一般助成B 25件）

<審査結果一覧>

	申請件数		助成予定件数	
	一般A	一般B	一般A	一般B
演劇	20	26	9	12
邦楽	3	7	2	1
邦舞	1	1	0	1
洋楽	10	8	4	4
洋舞	2	3	1	0
古典芸能	5	4	3	3
大衆芸能	5	2	3	1
美術	5	7	3	2
映画	0	1	0	1
合計	51	59	25	25

<アーツカウンシル部会(芸術活動振興事業に関する審査員※令和7年8月14日時点)>

委員名	役職
宮崎 優也	アーツカウンシル統括責任者 独立行政法人日本芸術文化振興会 プログラムオフィサー
垣沼 絢子	立命館大学衣笠総合研究機構 専門研究員
北村 智子	アートアドミニストレーター
塚原 悠也	京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター アーティストユニット ContactGonzo ディレクター・パフォーマンス
畑 律江	毎日新聞客員編集委員
沼田 里衣	大阪公立大学大学院文学研究科文化構想学科 准教授
広瀬 依子	追手門学院大学文学部 講師
原 久子	大阪電気通信大学総合情報学部 教授

令和7年度 大阪市芸術活動振興事業助成金 交付決定一覧【一般助成B 下期募集分】

分野	No.	申請団体名	事業名
演劇	1	関西俳優協議会	関西俳優協議会60周年記念事業「つじつまあわせ」公演
演劇	2	工藤俊作プロデュース プロジェクトKUTOー10	工藤俊作プロデュース プロジェクトKUTOー10 第25回公演「三大劇作家の世界大冒険」
演劇	3	橋田ゆういちろうのカンパニー	橋田ゆういちろうのカンパニー 其の11「宇宙海賊キャプテンズカーダック」
演劇	4	有限会社キューカンバー	MONO 第53回公演「幸せな結末」(仮)
演劇	5	株式会社関西芸術座	関西芸術座公演「病は気から」
演劇	6	Plant M	Plant M No. 26連作公演「げきじょうのひ」 #0序と云い切れズ #1グラビティロスト
演劇	7	一般社団法人HMP	エイチエムピー・シアターカンパニー 新作公演「リアの道化たち」(仮)
演劇	8	一般社団法人清流劇場	清流劇場2026年3月公演「曾根崎心中」
演劇	9	有限会社遊機械オフィス	ア・ラ・カルト公認レストラン 僕のフレンチ (仮)
演劇	10	大阪学生演劇祭実行委員会	第2回大阪学生演劇祭
演劇	11	株式会社INDEPENDENT	最強の一人芝居フェスティバル「INDEPENDENT:25」
演劇	12	ふわくせ	ふわくせ大阪公演2025秋
邦楽	13	SUMINOE TRIBE実行委員会	SUMINOE TRIBE 2025
洋楽	14	トラダートコンプレックス実行委員会	TradArt Complex@大阪・山本能楽堂
洋楽	15	合同会社空間現代	吉増剛造 × 空間現代『背』プロジェクト
洋楽	16	公益財団法人日本センチュリー交響楽団	第294回定期演奏会
洋楽	17	一般社団法人大阪コレギウム・ムジクム	大阪コレギウム・ムジクム創立50周年記念 第132回大阪定期公演 J. S. バッハ／ロ短調ミサ
邦舞	18	フェミニーナ	世代や性別、国籍を越えた多様な人々とパフォーマーが創る ダンス公演「ギャザリング」
古典芸能	19	正陽会	第40回記念公演 正陽会
古典芸能	20	大の会	能meets能力カリ「安達原」
古典芸能	21	大阪ミナミ国際文化交流委員会	上方文化講座
大衆芸能	22	一般社団法人てづくり紙芝居館	「摩訶不思議のぞきからくりの世界」 ～のぞいて魅る紙芝居のルーツ古典から現代まで～
美術	23	一般社団法人日本アダプティブファッション協会	OSAKAアップサイクル×アールブリュット展
美術	24	池田昇太郎	展示「歌と逆に。歌に。」
映画	25	日本映画大回顧展上映実行委員会	月齢十日の月のように―― カメラマン瀬川順一と日本ドキュメンタリー映画史(仮)

交付決定件数(一般助成B)	25件
交付決定額計	11,290,000円

令和7年度 大阪市芸術活動振興事業助成金 交付決定一覧【一般助成A 下期募集分】

分野	No.	申請団体名	事業名
演劇	1	劇団大阪新撰組	第42回本公演「時計書房、開店2周年」
演劇	2	マシュマロテント	第6回公演「そのマンションは海底に建っていた」
演劇	3	ボラ☆ボラ	カラ☆ボラ2025 ミュージック×リーディング×インプロ 偏りのある知
演劇	4	劇団ジャブジャブサーキット	創立40周年&ファイナルツアー「夜の横顔」
演劇	5	立ッ鳥会議	立ッ鳥会議第9回公演「そびれるしま」
演劇	6	いちびり一家口	第23回公演「コンセント！（仮）」
演劇	7	超人予備校	超人予備校第18回本公演「ロマンガースの神様」
演劇	8	The Stone Age	The Stone Age 2025 公演「エイリアンズ」
演劇	9	プロテアトル	「オアセス（仮）」
邦楽	10	音のまにまに	邦楽コンサート～音のまにまに～vol. 6
邦楽	11	合同会社天手鼓舞ジャパン	音の旅団 Tenebrae(テネブレ)公演「あわい」
洋楽	12	一般社団法人セヤナミュージックグループ	セヤナ！プラス2026～金管アンサンブルの愉しみ～
洋楽	13	一般社団法人アートエリアピーワン	ステイステーション企画Vol. 2「Open Work Station」(仮)
洋楽	14	アイアイMUSIC	井岡郁子バスフルートリサイタル Vol. 3
洋楽	15	関西合唱団	関西合唱団 第88回定期演奏会
洋舞	16	一般社団法人So Arts	苫野美亜プロデュース Dance Performance LIVE GalleryProject#2
古典芸能	17	霜乃会	第7回霜乃会本公演 演継豊浄瑠璃宗(えんじつぐ ゆたかなる じょうるりのまつり)
古典芸能	18	女義太夫の会	義太夫体験教室
古典芸能	19	株式会社コテンゴテン	それはまるでラジオドラマ 見て楽しむ！？聞いて楽しむ！？義太夫節
大衆芸能	20	桂文我	秋の恒例 桂文我独演会
大衆芸能	21	作家の台本を育てる会	作家の台本を育てる会7
大衆芸能	22	有限会社東西屋	ちんどん通信社 2025年 年末特別講演
美術	23	新大阪・三国アートフェス実行委員会	新大阪・三国アートフェス2025
美術	24	animation soup	なにわはにわ工場 ～アニメーションワークショップと上映会～(仮)
美術	25	小林颯	Appeartus #1

交付決定件数(一般助成A)	25件
交付決定額計	4, 556, 000円

令和7年度 大阪市芸術活動振興事業助成金（一般助成A・一般助成B）下期審査 総評

令和4年度より新体制となった大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会（以下、大阪アーツカウンシル）は、今年で4年目を迎えました。これまで助成金採択活動の視察やヒアリングを積極的に行い、大阪における芸術文化活動の熱意と創造力に直接触れてきました。その中で改めて感じるのは、この審査がいかに重責を担うものであるかということです。

令和7年度、一般助成枠Aでは、合計51件（うち新規が22件）の申請があり、うち25件（新規は9件）を採択しました。一般助成枠Bでは、合計59件（うち新規は30件）の申請があり、うち25件（新規は10件）を採択しました。採択率は一般助成枠Aで約49%、一般助成枠Bで約42%となり、両枠を合わせた申請総数は110件（うち新規は52件）、うち50件を採択し、全体の採択率は約45%という結果になりました。

審査においては、事前に公表されている審査基準に基づき、審査員が採点を行いました。審査会当日には、審査員同士で活発な議論を重ね、点数が上位の活動から採択を決定しました。

申請者一人ひとりの活動や想いに真摯に向き合う中で、審査員の間には「できる限りの支援をしたい」という気持ちが常にありました。しかし、限られた予算の中で全てを採択することは叶わず、やむを得ず不採択にせざるを得ないケースも生じています。申請準備に多大な時間と労力を割いてくださったすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

申請書の中には、活動の魅力や計画の具体性が十分に伝わらず、審査基準との整合性が確認しづらいものも見受けられました。実際には素晴らしい活動であっても、申請書でそれを具体的に表現できなければ、審査において高く評価されにくくなってしまいます。これは活動の価値が否定されたわけではなく、あくまで申請書の表現上の課題です。

本助成金は、募集案内に記載されている通り「芸術活動の水準向上と発展を図るとともに、市民の文化・芸術の振興を図る」ことを目的としています。したがって、申請書においては、この目的達成に向けた具体的な活動内容や設計が明確に説明されていることが重要です。実際に優れた活動を展開していても、申請書にその設計や意図が十分に記されていないければ、加点が難しい場合があります。だからこそ、活動の魅力を的確に整理し、目的とのつながりを示すことが欠かせません。

芸術文化に対する支援は、社会に対する「説明責任」を伴います。芸術文化は配当や利益の形で直接還元することはできませんが、社会性や公益性というかたちで確かな価値を生み出しています。その価値を誠実に伝え続けることは、助成金を得るためだけでなく、新たなファンや支援者との接点を生み、活動の輪を広げていく大切な力となります。

一方で、申請書を作成する際には「芸術文化を社会課題の解決や道具としてだけ位置付けなければな

らない」というような誤解やプレッシャーを感じてしまうこともあります。これは本来の芸術文化の本質的な価値を矮小化し、見失ってしまう危険をはらんでいます。大切なのは、課題解決や機能的な価値を過度に強調することではなく、本質を尊重しつつ、それを異なる角度から見直し、活動の魅力や意義を整理して伝えることです。そうして磨かれた言葉は、審査員や支援者にとどまらず、まだ出会っていない観客や市民にも届き、次なるつながりを生み出す契機となります。だからこそ、このプロセスを「負担」としてではなく、芸術文化を深め広げるための前向きな機会として捉えていただきたいと願っています。

大阪アーツカウンシルでは、助成金審査を単なる配分作業にとどめず、大阪における芸術文化活動の現状や課題を共有する場として位置付けています。審査を通じて浮かび上がった課題については引き続き議論を重ね、制度改善に取り組んでまいります。また、審査や評価にとどまらず、文化データの収集、芸術文化関係者のニーズ把握、現場支援や新規提案の実施といったシンクタンク機能の強化にも努めています。

芸術文化を続けていくことは決して容易ではありません。それでも、芸術文化が人や地域、そして社会全体の豊かさにつながるという確信を胸に、皆さまが挑戦を続けてくださることを、私たちは心から願っています。大阪アーツカウンシルも引き続き、その歩みを支える存在であり続けたいと考えています。

大阪アーツカウンシル統括責任者
宮崎優也